

坂西梓里、新田梢（フィールド科学研究室）、片平浩孝（環境生物学研究室）

研究の背景

ダンゴムシは、陸上に生息する腐植食性の土壌動物で、多くは人間生活に身近な環境に生息しています。そして、中でもコシビロダンゴムシ科に属するものは在来種であり、自然度の高い森林や緑地にしか生息していないことから、森林・緑地およびそこに生息する生物の保全を考える際に注目すべきグループ（指標生物）の一つです。本プロジェクトは、神奈川県公園協会と連携し、県立公園におけるコシビロダンゴムシ等のダンゴムシ類の生息状況を調査し、公園の自然度評価の一助となることを目指します。



アプローチ

神奈川県内の県立公園を対象に、コシビロダンゴムシ等のダンゴムシ類の生息状況について、見つけ取り法（調査地区内を歩きながら、生息するダンゴムシを目視により確認、採集する方法）により調査を行います。また、ダンゴムシ類の採集場所では土壌pH、照度、土壌含水率なども調べ、ダンゴムシの分布に与える影響についても調査します。



神奈川県立都市公園（神奈川県公園協会HPより）

期待される結果

- ◆ コシビロダンゴムシについては、神奈川県内では横浜市の8か所、相模原市の2か所で生息が確認されているだけで、その分布状況についての研究はほとんどありません。本調査で新たな記録を報告することができるかと期待されます。
- ◆ ダンゴムシ類は環境によって見つかる種類が異なり、コシビロダンゴムシは森林性です。コシビロダンゴムシの生息が確認できれば、その場所は一定規模の安定した自然環境であることを示しており、公園の自然度評価の一助となります。
- ◆ 公園緑地のような管理された自然の中で調査を行うことで、身近な地域の価値を再発見できます。

募集方法

3名程度を募集します。ホームページでの募集のほか、前期期間中にプロジェクトの説明会を行います（説明会にどうしても参加できない場合は、個別で説明の機会を設けます）。また、随時質問等を受け付けます。